

令和元年度のコミュニティ・スクール

令和元年7月に岩内町立岩内小中学校運営協議会が設立され、岩内町のコミュニティ・スクールがスタートしました。

岩内町では、東地区（岩内東小・岩内一中）と西地区（岩内西小・岩内二中）の2つに分かれて会議を行っており、令和元年度は各地区それぞれ計3回の会議を行い、学校評価の結果や各学校の活動などを委員の方々と共有しました。

また、意見交流の場では、「〇〇の交差点は交通量が多く、登下校中の児童生徒が心配だ。」や、「地域の人の特技等を子どもたちに紹介してみてもは。」など、今後の課題等について話し合いました。

◎各学校の活動内容（一部）

- ・長期休業中の学習会
- ・習熟度別学習
- ・ダンス教室
- ・ボランティアによる読み聞かせ
- ・ゲストティーチャーによる食に関する授業



今後のコミュニティ・スクールの展開

令和2年度以降では上記の課題を実際に解決していくために、次のような取組を行い、コミュニティ・スクールのさらなる充実を目指していきます。

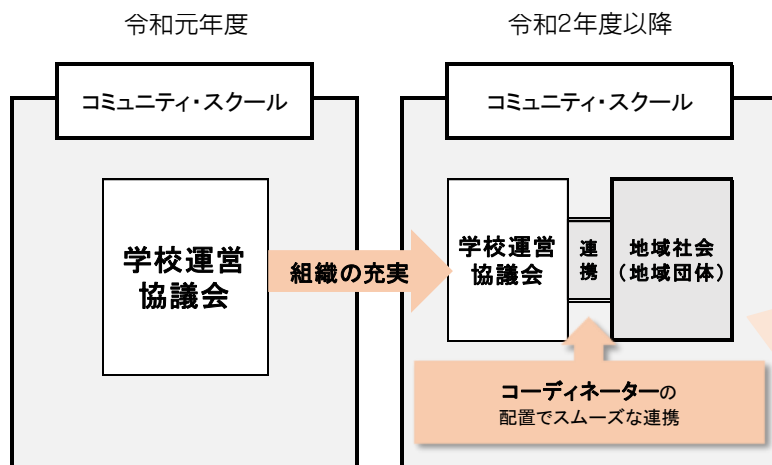
・地域社会との連携を！

学校運営協議会で意見を出し合って立案された企画を実際に行っていくためには、その担い手が必要となってきます。そのためには、学校運営協議会と地域社会が連携を図っていくことが大切です。この連携を図ることで、地域と学校が一体となって活動をすることができ、子どもたちにとっても、岩内町ならではの体験活動に取り組むことができるようになります。今後は、地域社会と連携を図り、「地域とともにある学校づくり」を目指していきます。

・コーディネーターの配置を！

コミュニティ・スクールの取組を円滑に進めるためにコーディネーターを配置します。コーディネーターは、学校と地域団体をつなぐパイプ役で、学校運営協議会で立案された企画を学校で行うために必要な人材を派遣したり、連絡調整を行ったりします。

今後のコミュニティ・スクールの展開（イメージ）



令和2年度のコミュニティ・スクール（例）

- ①学校運営協議会で協議を行う。
⇒スキー学習の支援員が欲しいという案が出る。
- ②コーディネーターが条件に合った支援員を探す。
- ③コーディネーターが日程等を調整する。
- ④スキー授業で支援員が配置される。
⇒子供たちが楽しく安全にスキー学習ができる。
⇒教職員の負担軽減。
⇒**地域とともにつくる学校へ！**

その他

岩内町のホームページで令和元年度に行われた会議の資料等を掲載しております。是非ご覧ください。

URL: https://www.town.iwanai.hokkaido.jp/?page_id=38166